

# 四半期報告書

(第40期第1四半期)

株式会社 **星医療酸器**

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	5
1 【株式等の状況】 .....	5
2 【役員の状況】 .....	6
第4 【経理の状況】 .....	7
1 【四半期連結財務諸表】 .....	8
2 【その他】 .....	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	16

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第40期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社星医療酸器

【英訳名】 HOSHI IRYO-SANKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 星 幸 男

【本店の所在の場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【電話番号】 (03)3899-2101(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼財務部長・I R担当 岡 田 利 夫

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【電話番号】 (03)3899-2101(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長兼財務部長・I R担当 岡 田 利 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社星医療酸器 神奈川事業所  
(神奈川県綾瀬市早川字上原2647番地27)

株式会社星医療酸器 千葉支店  
(千葉県千葉市稲毛区山王町305番地10)

株式会社星医療酸器 埼玉営業所  
(埼玉県北本市荒井四丁目151)

株式会社星医療酸器 名古屋支店  
(愛知県小牧市大字舟津1298番地)

株式会社星医療酸器 大阪営業所  
(大阪府交野市私部西五丁目32番25号)

株式会社星医療酸器 尼崎営業所  
(兵庫県尼崎市東難波町二丁目1番5号)

## 第一部 【企業情報】

### 第 1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期 連結累計期間	第40期 第1四半期 連結累計期間	第39期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,086,787	2,160,379	8,886,072
経常利益 (千円)	280,721	170,260	1,150,083
四半期(当期)純利益 (千円)	167,868	99,932	691,362
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	150,511	104,241	713,351
純資産額 (千円)	8,023,084	8,557,735	8,519,685
総資産額 (千円)	11,771,210	11,914,518	12,037,347
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	50.66	30.25	209.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	66.8	70.4	69.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社につきましても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和策や各種の経済対策を背景として、企業収益や消費動向が改善するなど、景気は持ち直しの動きが見られたものの、海外経済の減速懸念等により、先行き不透明な状況で推移しました。

当医療ガス業界においては、医療機関経営の効率化ニーズへの対応や、企業間競争の激化などから引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、グループ各社の効率的な連携を図りつつ現状の営業基盤の拡充を図るとともに、在宅医療や介護福祉関連など多岐に亘る分野における取扱業務の多様化推進と、経営環境に即した柔軟な経営、並びに社会貢献を念頭に営業力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、連結売上高は2,160百万円（前年同四半期比3.5%増）と増収を確保できましたが、利益面では、連結経常利益は170百万円（前年同四半期比39.3%減）、連結四半期純利益は99百万円（前年同四半期比40.5%減）と減益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①医療用ガス関連事業

当部門は、主力商品である医療用酸素ガスの需要が緩やかながら減少しており、競争激化が続く厳しい環境のもと、新規取引先の獲得や新商品の拡販等の営業努力を重ねましたが、売上高は816百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は50百万円（前年同四半期比48.5%減）となりました。

#### ②在宅医療関連事業

当部門は、国の在宅医療促進政策推進を背景に、人口呼吸器やC P A P（持続陽圧呼吸療法—閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器）の需要が増加傾向のなか、地域中核病院から診療所まで幅広い営業活動に注力したほか、在宅酸素療法用酸素供給装置に付属する高機能リモコン（製品名：パレッツ）の機能拡張を進め販売強化に努めた結果、売上高は823百万円（前年同四半期比4.3%増）、一方セグメント利益は104百万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。

### ③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、大型案件の完成等が寄与し、売上高は188百万円（前年同四半期比29.1%増）となりましたが、利益確保には至らずセグメント損失は2百万円（前年同四半期セグメント利益17百万円）となりました。

### ④介護福祉関連事業

当部門は、在宅及び病院・医療機関へのレンタルが堅調に推移し、居宅介護支援事業者への継続的な営業強化など拡販に注力しましたが、売上高は96百万円（前年同四半期比8.1%減）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比34.1%減）となりました。

### ⑤施設介護関連事業

当部門は、種々の広報活動に加え、居宅介護支援事業者や医療機関との連携等の入居者募集活動により有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」の稼働率向上に注力したほか、前期に新設した通所介護施設「あしつよ・文京」が寄与したことなどから、売上高は60百万円（前年同四半期比12.4%増）と増収でしたが、利益面ではセグメント損失17百万円（前年同四半期セグメント損失10百万円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は11,914百万円（前連結会計年度末比122百万円減）となりました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が94百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が212百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,356百万円（前連結会計年度末比160百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が71百万円、未払法人税等が150百万円減少したこと、賞与引当金が60百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は8,557百万円（前連結会計年度末比38百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少66百万円、当第1四半期純利益99百万円等によるものであります。

## (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,500,000
計	8,500,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,601,681	3,601,681	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式であり、 単元株式数は100株であります。
計	3,601,681	3,601,681	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	3,601,681	—	436,180	—	513,708

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。



(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 297,900	—	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,299,500	32,995	同上
単元未満株式	普通株式 4,281	—	同上
発行済株式総数	3,601,681	—	—
総株主の議決権	—	32,995	—

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の自己保有の自己株式88株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社星医療酸器	東京都足立区入谷 7-11-18	297,900	—	297,900	8.27
計	—	297,900	—	297,900	8.27

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,643,150	5,737,771
受取手形及び売掛金	1,734,131	1,521,268
たな卸資産	190,818	167,351
繰延税金資産	78,020	77,736
その他	41,567	73,884
貸倒引当金	△6,957	△8,456
流動資産合計	7,680,730	7,569,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	593,991	587,222
土地	1,870,975	1,870,975
その他（純額）	689,856	678,172
有形固定資産合計	3,154,823	3,136,370
無形固定資産	101,083	94,007
投資その他の資産		
投資有価証券	541,997	550,932
その他	560,545	565,311
貸倒引当金	△1,832	△1,659
投資その他の資産合計	1,100,710	1,114,585
固定資産合計	4,356,617	4,344,962
資産合計	12,037,347	11,914,518
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,531,010	1,459,995
1年内返済予定の長期借入金	117,636	117,636
未払法人税等	220,402	70,391
賞与引当金	120,000	180,000
その他	674,084	667,814
流動負債合計	2,663,134	2,495,837
固定負債		
長期借入金	117,683	88,274
役員退職慰労引当金	443,987	486,887
長期預り保証金	18,475	17,752
その他	274,381	268,031
固定負債合計	854,528	860,945
負債合計	3,517,662	3,356,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	7,883,326	7,917,185
自己株式	△509,990	△510,108
株主資本合計	8,323,224	8,356,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,311	32,869
その他の包括利益累計額合計	29,311	32,869
少数株主持分	167,149	167,901
純資産合計	8,519,685	8,557,735
負債純資産合計	12,037,347	11,914,518

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,086,787	2,160,379
売上原価	937,648	1,033,548
売上総利益	1,149,138	1,126,830
販売費及び一般管理費	873,345	959,918
営業利益	275,793	166,912
営業外収益		
受取利息	2,352	433
受取配当金	2,603	2,585
その他	2,456	2,110
営業外収益合計	7,412	5,128
営業外費用		
支払利息	2,483	1,780
営業外費用合計	2,483	1,780
経常利益	280,721	170,260
特別損失		
固定資産除却損	152	—
特別損失合計	152	—
税金等調整前四半期純利益	280,569	170,260
法人税等	111,699	69,245
少数株主損益調整前四半期純利益	168,869	101,014
少数株主利益	1,000	1,082
四半期純利益	167,868	99,932

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168,869	101,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,358	3,226
その他の包括利益合計	△18,358	3,226
四半期包括利益	150,511	104,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,163	103,490
少数株主に係る四半期包括利益	347	751

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
(税金費用の計算) 当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	108,744千円	97,847千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	66,475	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 取締役会	普通株式	66,073	20.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	817,323	789,499	145,603	105,261	54,115	1,911,803	174,983	2,086,787
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	31,410	—	—	31,410	—	31,410
計	817,323	789,499	177,013	105,261	54,115	1,943,213	174,983	2,118,197
セグメント利益 又は損失(△)	97,376	134,193	17,166	14,326	△10,047	253,015	26,130	279,146

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額  
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	253,015
「その他」の区分の利益	26,130
セグメント間取引の消去	△3,353
四半期連結損益計算書の営業利益	275,793

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	816,303	823,603	188,006	96,690	60,807	1,985,411	174,967	2,160,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,460	—	—	4,460	—	4,460
計	816,303	823,603	192,466	96,690	60,807	1,989,871	174,967	2,164,839
セグメント利益 又は損失(△)	50,123	104,300	△2,731	9,434	△17,485	143,640	24,215	167,856

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額  
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	143,640
「その他」の区分の利益	24,215
セグメント間取引の消去	△943
四半期連結損益計算書の営業利益	166,912

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	50円66銭	30円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	167,868	99,932
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	167,868	99,932
普通株式の期中平均株式数(株)	3,313,876	3,303,682

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

平成25年5月13日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

- ① 配当金の総額 66百万円
- ② 1株当たりの金額 20円00銭
- ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月28日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 7 日

株式会社星医療酸器

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 和田 芳 幸 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 齋 藤 哲 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社星医療酸器の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社星医療酸器及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【会社名】 株式会社星医療酸器

【英訳名】 HOSHI IRYO-SANKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 星 幸 男

【最高財務責任者の役職氏名】 \_\_\_\_\_

【本店の所在の場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社星医療酸器神奈川事業所  
(神奈川県綾瀬市早川字上原2647番地27)

株式会社星医療酸器千葉支店  
(千葉県千葉市稲毛区山王町305番地10)

株式会社星医療酸器埼玉営業所  
(埼玉県北本市荒井四丁目151)

株式会社星医療酸器名古屋支店  
(愛知県小牧市大字舟津1298番地)

株式会社星医療酸器大阪営業所  
(大阪府交野市私部西五丁目32番25号)

株式会社星医療酸器尼崎営業所  
(兵庫県尼崎市東難波町二丁目1番5号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長星幸男は、当社の第40期第1四半期(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。